

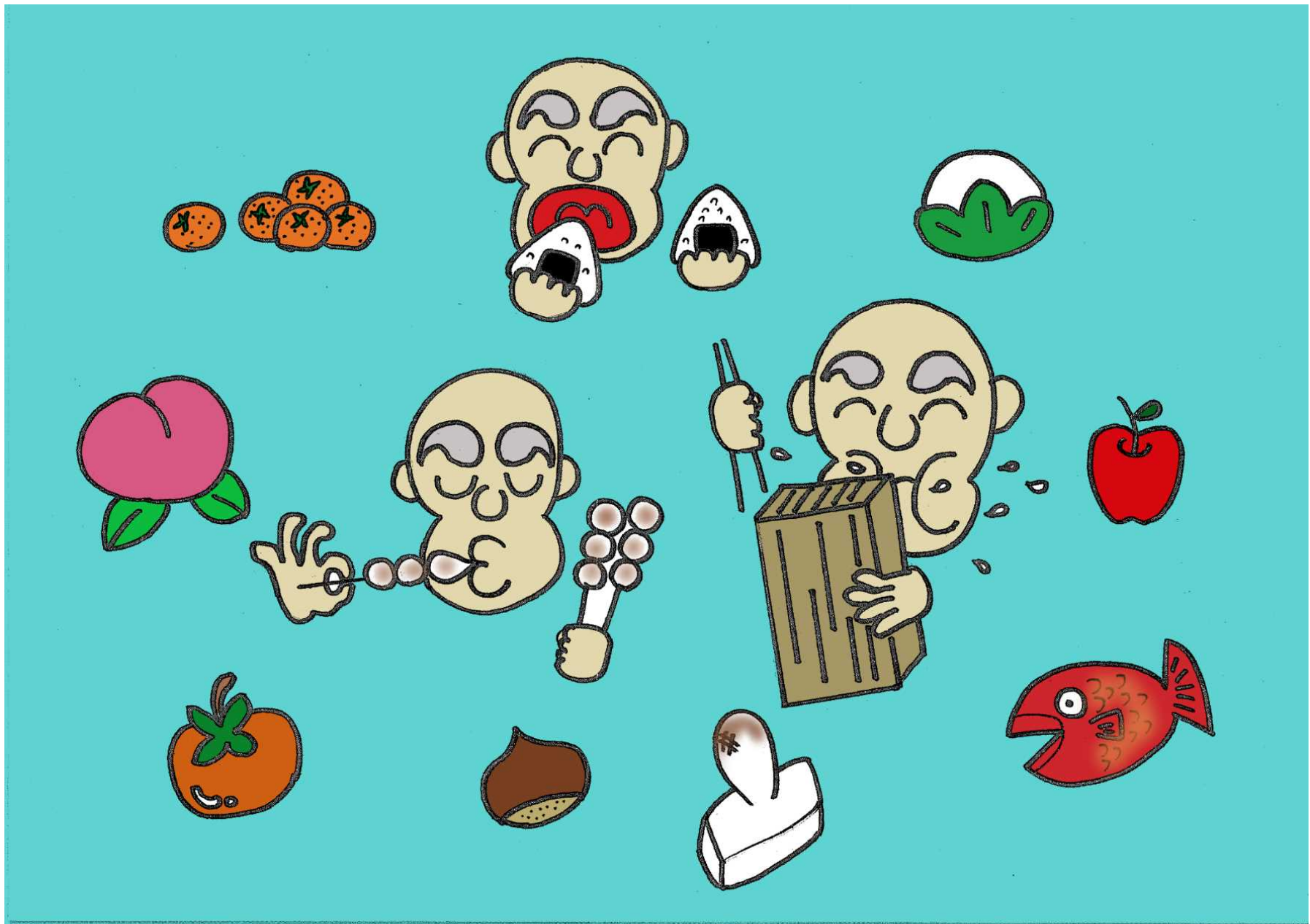
つがるの昔っころ (昔話)

和尚様と小坊こ① (津軽弁)



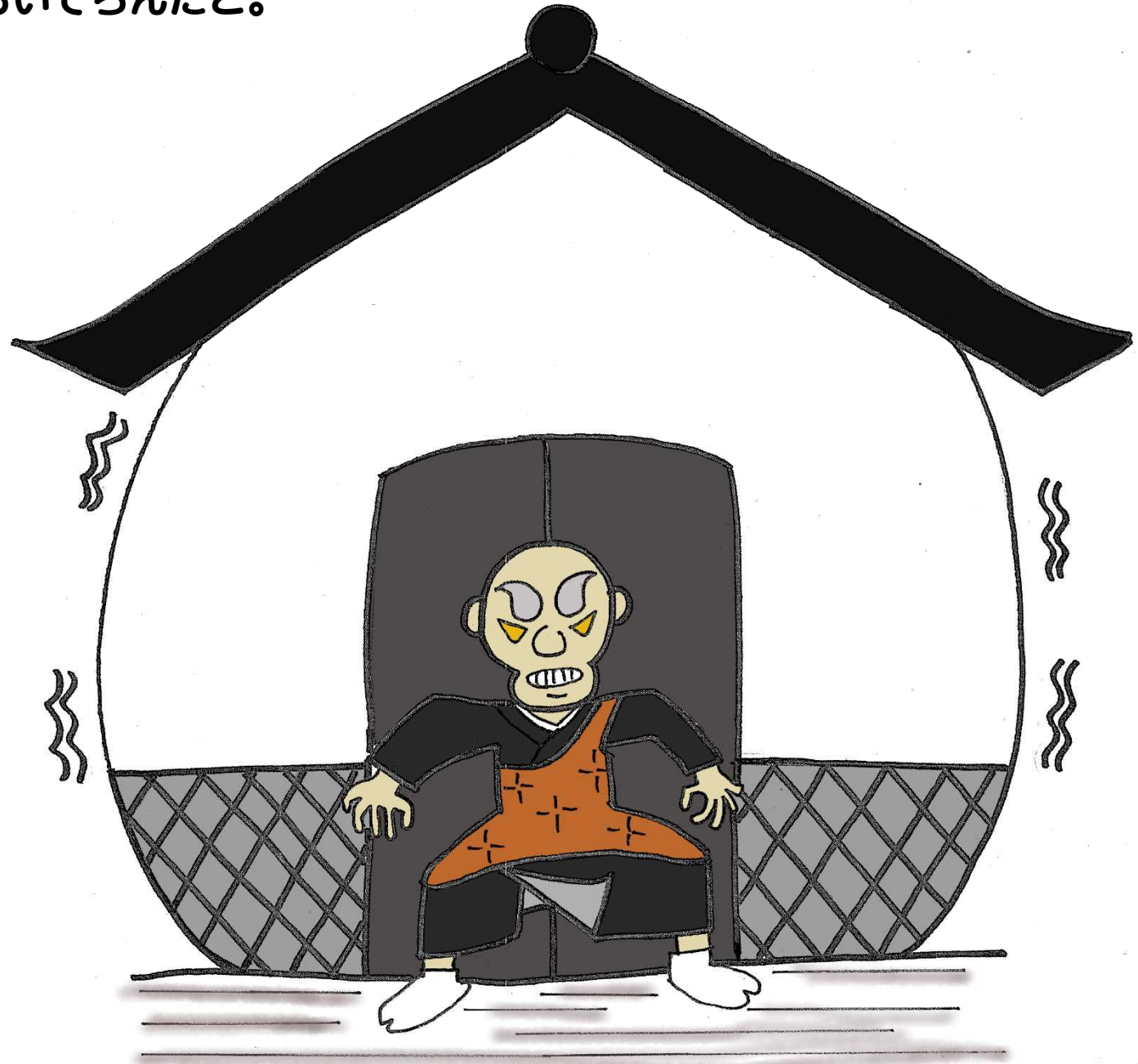
昔、山寺さ、和尚様ど、小坊
コ三人居であたど。
小坊コてすのは、子供のお坊
さんの事だ。

国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統合管理事務所
イラスト : うじいえ ひろみ
カラーリング : みやかわ みなみ



この和尚様、ケチだ和尚様でよ、法事さ呼ばれでも、小坊コ誰(だあ)も連(つ)で行がねで、自分ばしご馳走になって、余った料理、折コさ詰めでもらて持って帰っても、小坊コ達さだば食(か)へねで、一人でコソラド食ってるんだど。

そして又、この和尚様には、小坊コ達にはかぐしてある大事だ秘密コあてあたど。
この和尚様、大(で)っただ袋ばこへでよ、その袋さ、冬の寒ーい時に、しゃっこい吹雪の風は
いーぱい詰めで、蔵さしまっておいでらんだど。



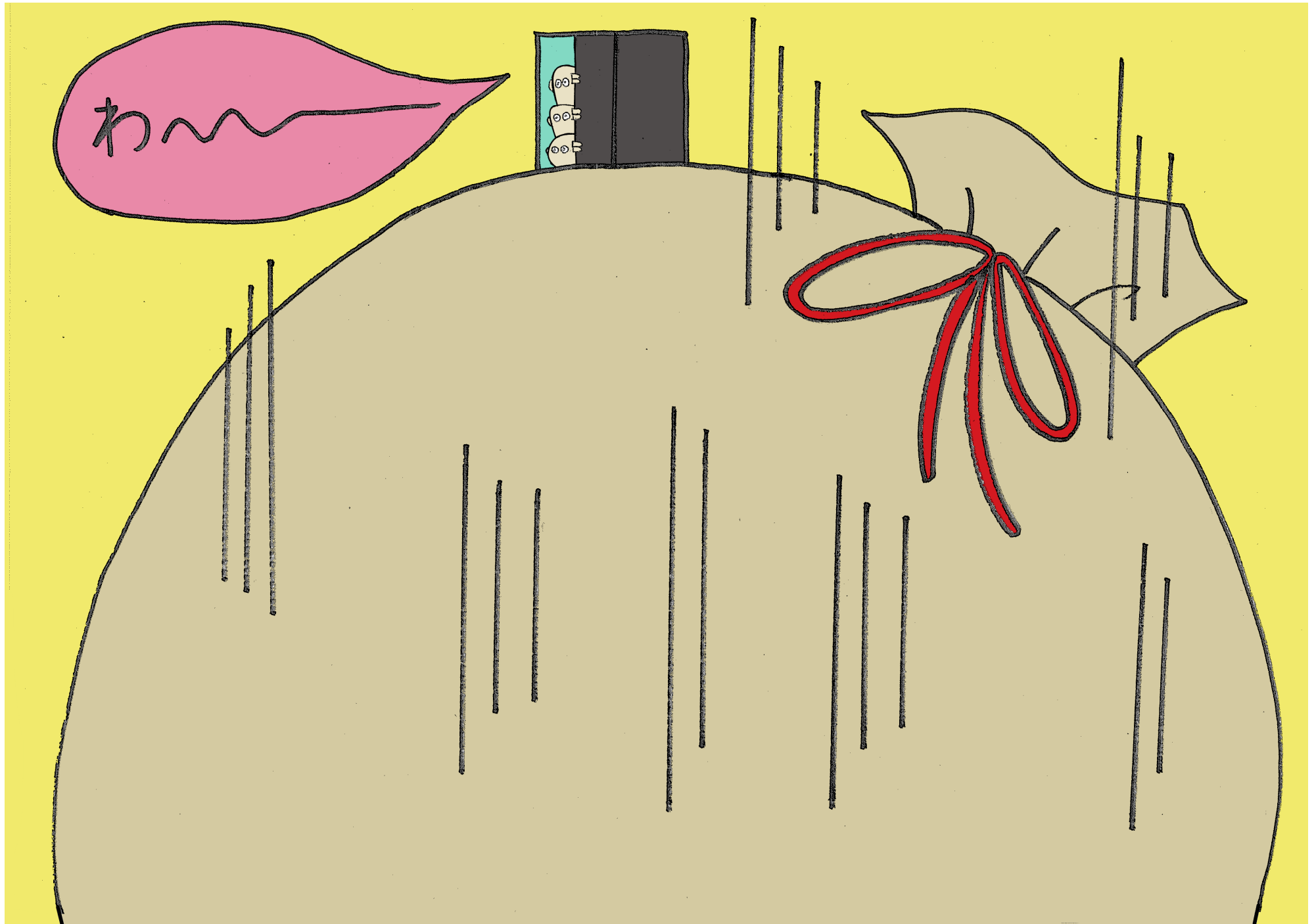
そして、夏の暑い日に、外から戻れば
『我、ちょっと蔵の中で調べものすはんで、お前達、誰もじゃましに来
ればマイネや』
てして、蔵の中さ入って、袋の中あげで、シャッコイ風コさあだって
『わいん、良いじゃ。なんぼ涼しば、なんぼ良ば』て、一人で楽しんで
らど。



小坊コ共あ、和尚様、ちよくちよく蔵さ入って行っては、サツパドした顔(つら)コ
で出てくるもんだとごで、一体蔵の中さ何あるんだべなて話し合ってらど。

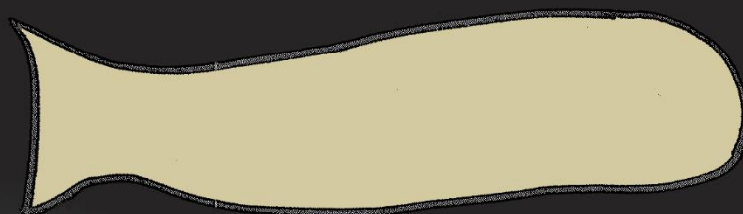


ある時、和尚様、蔵さ鍵かげるの忘れて、法事さよばれで行ったど。
小坊コ達三人、その隙に蔵さ入てみだきや、大(で)っただ袋あてあたど。



『何入ってらんだべ』と思て、袋の口コそろらっと開げでみだきや、シャッコイ風コ、フワツと出はてきて、んにや何も彼も気持ちいいふてあたずおんな。

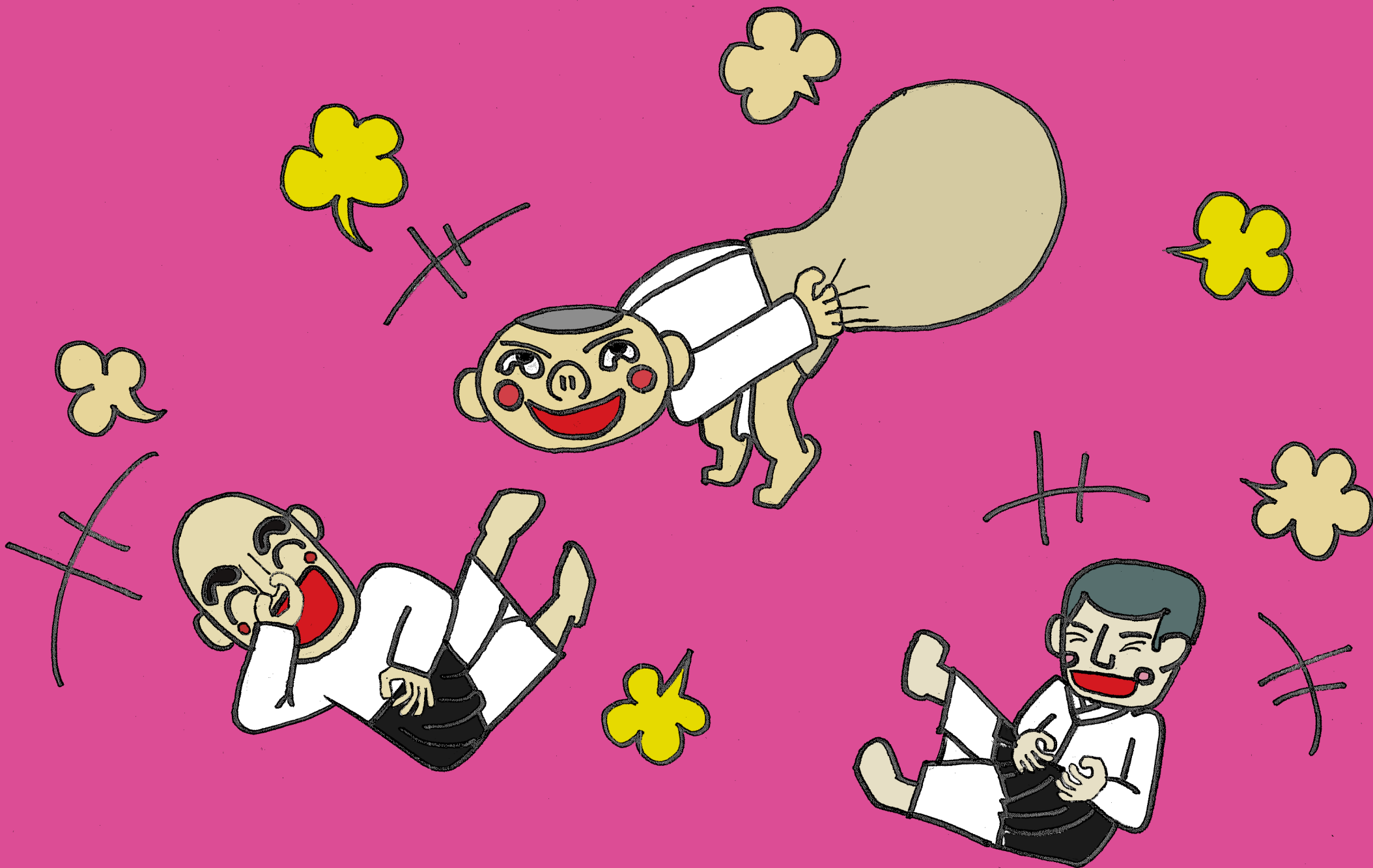




あんまり気持ちコいいもんだとごで、『我あ、もう一回』『我あ、もう一回』てかわるがわる
開げで風コさあだったとごで、とうとうシャッコイ風コねぐなてまたど。

さあ、小坊コ達あ困ってしました。

『和尚様もどってくれば叱られるし、どっへばいいべ、どっへばいいべ』て、頭コくつけで相
談はしたずおん。

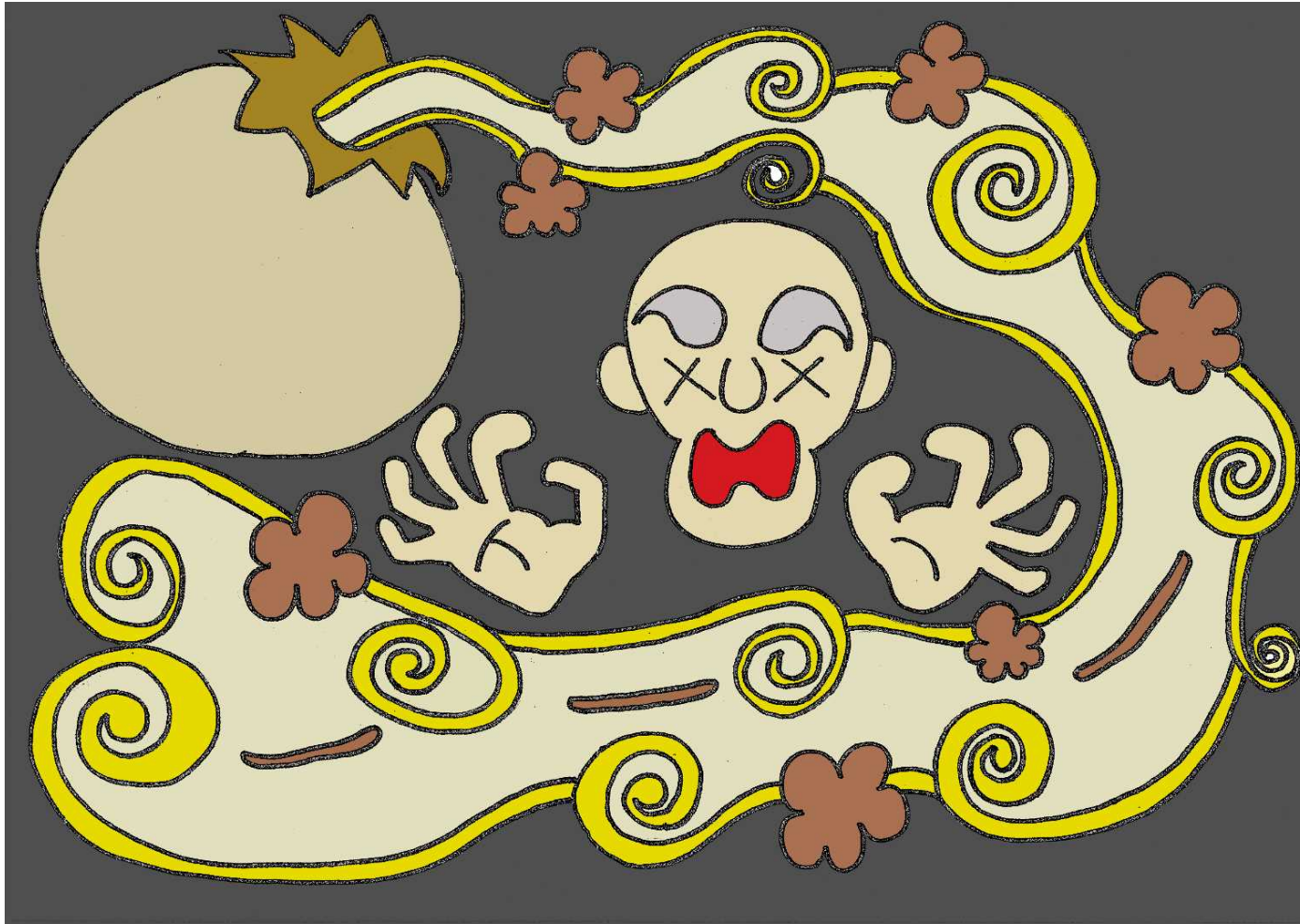


そしてよ、それがら袋の口コさ尻コつけで、三人して、かわるがわるに尻コふって、袋の口からがいでおいだど。

そしてらきや、和尚様、戻って来たずおん。

『どら、又、蔵の中で調べものすかな』て、蔵さ入て行つたど。

そして、紐ば引っぱって袋の口コあげだきや臭っせえ風コ、ボゴラツと出できたど。



和尚様、どってん目まわして

『わいん、なんぼ冬の風コでも、こつたらに暑いば、アメデまるんだびよんな』て云たど。

アメルて云のは、腐ってしまうて云う事だ。

臭くて、おがしい話コだきやの。

とっちばれ